

オホーツクの舟歌

作詞作曲 森繁久弥
倍賞智恵子版

□□□

何地（いずち）から 吹きすさぶ 朔北の吹雪よ
わたしの胸を刺すように

オホーツクは 今日も 海鳴りの中に
明け 暮れてゆく

父祖の地のクナシリに

長い冬の夜があける日を

白いカモメが告げるまで

最涯ての茜の中で わたしは 立ちつくす

何故か 眼がしらの涙が凍るまで （以上台詞）

1.

オホーツクの海原

ただ白く凍て果て

命あるものは暗い雪ノ下

春を待つ心 ペチカに燃やそ

哀れ東（ひんがし）にオーロラかなし

2.

最涯の番屋に 命の火チロチロ

トドの鳴く夜は いとし娘が瞼に

誰に語らん このさみしさ

ランプの灯影に 海鳴りばかり

3.

スズランの緑が 雪解けに光れば

アイヌの唄声 谷間にこだます

シレトクの春は 潮路に開けて

舟人のかいな 海に輝く

4.

オレーオレー オーシコイ

沖の声 舟歌

秋あじだいエリヤンサ

揚げる網や大漁

霞むクナシリ 我が故郷

何日の日か詣でむ 御親（みおや）の墓に

ねむれ静かに

オホーツクの舟歌

作詞作曲 森繁久弥
倍賞智恵子版

□□■

何地（いずち）から 吹きすさぶ

朔北（さくほく）の吹雪よ

わたしの胸を刺すように

オホーツクは 今日も 海鳴りの中に

明け 暮れてゆく

父祖の地のクナシリに

長い冬の夜があける日を

白いカモメが告げるまで

最涯ての茜の中で

わたしは 立ちつくす

何故か 眼がしらの涙が凍るまで

（以上台詞）

オホーツクの舟歌

作詞作曲 森繁久弥

1.

□■
オホーツクの海原

ただ白く凍て果て

命あるものは暗い雪の下

春を待つ心 ペチ力に燃やそ

哀れ東(ひんがし)にオーロフかなし

2.

最涯の番屋に 命の火チロチロ

トドの鳴く夜は いとし娘が瞼に

誰に語らん このさみしさ

ランプの灯影に 海鳴りばかり

オホーツクの舟歌

作詞作曲 森繁久弥

3／3

3.



スズランの緑が 雪解けに光れば
アイヌの唄声 谷間にこだます
シレトクの春は 潮路に開(あ)けて
舟人のかいな 海に輝く

4.

オレーオレー オーシコイ

沖の声 舟歌

秋あじだいエリヤンサ

揚げる網や大漁

霞(かすむ) むクナシリ 我が故郷

何日(いつの)の日か詣(もつ)でむ

御親(みおや)の墓に

ねむれ静かに

End

オホーツクの舟歌

新しれとこ旅情く「地の涯に生
きるもの」東宝映画主題歌

オーシコイ オーシコイ
ヤレコレホイサ ノ オーシコイ

1. オホーツクの海原
ただ白く凍て果て
命あるものは
暗い雪ノ下
春を待つ心
ペチ力に燃やそ
哀れ東（ひんがし）に
オーロウかなし
2. 最涯（さいはて）の番屋に
命の火チロチロ
トドの鳴く夜は
いとし娘の臉に
誰に語らん
このさみしさ
ランプの灯（ほ）影に
海鳴りばかり

オーシコイ オーシコイ
ヤレコレホイサ ノ オーシコイ

3. スズランの緑が
雪解けに光れば
アイヌの唄声
谷間にこだます
シレトクの春は
潮路に開けて
舟人のかいな
海に輝く

4. オレーオレー オーシコイ
沖の声 舟歌
秋あじだいエリャンサ
揚げる網や大漁
霞むクナシリ
我が故郷
何日の日、詣でむ
御親（みおや）の墓に
ねむれ静かに